

平成26年 1月31日

関係各位

全国海運組合連合会

平成26年度 新6級海技士(航海) 養成課程、募集について (ご案内)

今般、総連合会より海技大学校による平成26年度の標記養成課程開催について、別紙の通り通知が参りました。

本養成課程は、3ヶ月半の講習と船社による6ヶ月の乗船履歴により、新6級海技士(航海)の資格〔200 G/T未満の沿海船の船長、500 G/T未満の航海士が可能〕が取得可能なものであり、講習終了後の社船による乗船履歴取得中での航海当直(丙種甲板部航海当直部員資格)も可能となる等、船員確保の面からも期待されている処です。

また、本年度の開催は昨年度と同様に 今回1回のみとなりますので、関係各位におかれましては、本制度をご活用頂き、船員対策の一助とされますよう、奮ってご応募・ご受講下さるようお願い申し上げます。

尚、お申し込み等 詳細につきましては、ご加入の各地区海運組合(支部)にお尋ね頂きますとともに、海運組合(支部)等を通じてお申し込み下さるようお願い致します。

(応募者の人数が12名未満の場合は、応募者負担金が生じます。)

以 上



平成26年1月27日

内航大型船輸送海運組合
全国海運組合連合会
全国内航タンカー海運組合 事務局御中
全国内航輸送海運組合
全日本内航船主海運組合

日本内航海運組合総連合会
船員対策委員会事務局

平成26年度

新6級海技士(航海)養成課程 募集要項案内

海技大学校における平成26年度新6級海技士(航海)養成課程 (平成26年度は1回のみの開催)の募集要項が下記の通り決まりましたのでお知らせいたします。

なお、平成26年度の新6級海技士(航海)養成課程講習は、別紙2「平成26年度新6級海技士(航海)養成課程の開催要領」の通り、年1回の開催とし、受講者が11名以下の場合は、通常の学費等(約32万円)のほかに、追加の費用負担(「追加負担額」表参照)が発生しますのでご承知置き下さい。

記

1. 修学期間 平成26年3月14日(金)～7月4日(金)
2. 出願期間 平成26年2月17日(月)～2月21日(金)
3. 募集人員 20名 (応募年齢は、原則50才未満とする。)

応募は各事業者が海技大学校へ出願期間に合わせて応募書類一式(正)を添えて直接入学申請を行うことになっておりますが、例年通り、事前に日本内航海運組合総連合会内での取り纏めを行い、実施機関に連絡致しますので、宜しくご協力願います。

応募書類の写し一式を添えて、各組合にて取り纏めの上、内航総連「船員対策委員会事務局」まで、下記要領にてご連絡願います。

- ① 内航総連 事前取り纏め受付期間：2月3日～2月14日(正午)
- ② 連絡事項： 出願者(受講者)氏名 生年月日 住所 最終学歴 学校名 所在地 卒業年次 雇用者(内定も含む) 企業名 所在地 担当者/連絡先等
- ③ 提出書類： 入学願書、乗船履歴(乗船履歴のある場合)、卒業証明書、雇用(内定)証明書等の応募書類の写し一式

※「健康状態表」については、海技大学校入学前に、このフォームで健康診断を受ければ、入学時の予備身体検査と航海訓練所の実習における入所手続きが1回の検診で済みます。

受診機関は船員法施行規則第 57 条に定める医師。（国土交通省の下記 HP 参照）

国土交通省ホームページ

船員の健康証明制度のご案内

<http://www.mlit.go.jp/kaiji/kenkou/index.html>

指定医師の一覧表

http://www.mlit.go.jp/kaiji/medical/medical_.html

※ 募集要項の中で「・・・六級海技士(航海)試験の受験資格が得られます。」とは、身体検査を含む受験のことで、学科試験、口述試験は免除されます。

※ 学費の内、その他諸経費(70,000 円)につきましては、相当額を内航総連より教育機関に助成金として寄付致しますので、内航総連傘下事業者に雇用或いは内定されている者に関しては徴収を免除されます。

添付：海技士コース(六級航海)学生募集要項

海技大学校 入学願書 健康状態表 乗船履歴(乗船履歴を有する者のみ)

平成 26 年度の新 6 級海技士(航海)養成課程講習の開催要領

1. 年間開催回数 1 回
2. 開催条件
- (1) 受講者が 12 名以上の場合
開催実施最少人数 15 名に満たない人数分の費用 (111,700 円/人×不足人数) は、内航総連合会が負担する。
- (2) 受講者が 6 名以上 12 名未満の場合
12 名に満たない人数分の費用 (111,700 円/人×不足人数) の半額は受講者で負担し、残りの半額は内航総連合会が負担する。
- (3) 受講者が 6 名未満場合
原則開催中止とする。
但し、受講者全員が差額増加分を負担することに同意した場合は開催する。

追加負担額表

受講者 人数 名	受講者 1 名当り 負担額 円
15 名以上	0
14	0
13	0
12	0
11	5,077
10	11,017
9	18,617
8	27,925
7	39,893
6	55,850
5	89,360
4	139,625
3	223,400
2	390,950
1	893,600

8.学 費 等

総額（概算）： 約34万円

内訳： 授業料

111,700円

教科書代等

22,500円

宿泊費（食費を含む。）

101,000円（通学の場合は不要です。）

傷害保険料

6,000円

乗船実習委託料

21,600円

実習生厚生費等

6,000円

その他諸経費

70,000円

（注）上記の金額は概算です。

なお、上記以外に別途、多少の雑費、航海訓練所練習船の乗下船にともなう交通費等が必要です。

海技士教育科海技専攻課程

海技士コース（六級航海専修）学生募集要項

海技士コース（六級航海専修）は、内航海運事業者に雇用されている方（内航海運事業者に雇用される見込みの方（内定者）を含む。）であって、船員教育機関以外の高等学校を卒業した方又はこれと同等と認められる方を対象に、船舶職員となるために必要な教育訓練を実施します。

教育訓練のスタイルは座学1.5月と練習船による乗船実習2月（独立行政法人航海訓練所）を効果的に組み合わせた方法で進められます。

座学と練習船による乗船実習を修了すれば、六級海技士（航海）の養成施設修了証明書、海技免許講習修了証明書、第二級海上特殊無線技士講習修了証明書を発行します。その後、雇用されている船会社の船舶で6月の乗船勤務を行えば、六級海技士（航海）試験の受験資格が得られます。

講習実施場所及び宿泊場所

〒659-0026 兵庫県芦屋市西蔵町12番24号

独立行政法人海技教育機構 海技大学校

TEL 0797(38)6211 FAX 0797(32)5955

URL <http://www.mtc.ac.jp>

e-mail kyoumu@mail.mtc.ac.jp

